

電気通信大学 平成19年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 仏語運用演習 | | |
| 英文授業科目名 | Intermediate Practical French | | |
| 開講年度 | 2007年度 | 開講年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 後学期 | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 数藤 征枝 | | |
| 居室 | 非常勤講師 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| (a) 主題：フランス語演習で学んだフランス語をさらいレベルアップする |
| (b) 達成目標：フランス語の会話力を身につけ、中級フランス語への準備を整える |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| フランス語演習 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| |

| |
|----------------------------|
| 【教科書等】 |
| 教科書：フランス語演習で使用したテキストを継続する。 |

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

基本的にはフランス語演習と同じである。語彙や表現をより豊かなものにしたい。授業時には毎回、ビデオの教材の場面にそくして、質問を作り、それに応答していく。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

期末試験および平常の質疑応答や宿題の結果を加味し、総合的に評価する。

3分の2以上の出席と期末テストの受験が最低条件となる。

【オフィスアワー：授業相談】

授業時とメールで相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

一回一回の授業を大事にしましょう！フランス語が人生のどこかで役にたつこともあります。

フランス的物の考え方、見方はグローバルな視点をもたらしてくれることでしょう。頑張って

自分のものにしましょう！

【その他】